

# 道徳科学習指導案

指導者 村上 真裕子

- 1 日 時 平成 29 年 12 月 1 日（金） 3 校時（10:30～11:15）
- 2 学年・組 第 1 学年花組 27 名
- 3 主題名 よく考えてよいと思うことを<内容項目 善悪の判断 A（1）>
- 4 教材名 ぼんたとかんた （わたしたちの道徳）
- 5 ねらい ぼんたに「行かない。」と言われた時のかんたの心の葛藤を通じて、よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行おうとする道徳的心情を育てる。

## 6 主題設定の理由

### (1) ねらいとする価値

人は社会生活を営んでいく中で、さまざまな課題や困難な場面に直面する。人間としてよりよく生きるためには、そこで生じた葛藤を乗り越えて、よいと思ったことや正しいと思ったことを積極的に行動していくことが大切である。

低学年の児童は、教師や親の言うことをしっかり守ろうと、素直に行動できるよさがある。しかし、低学年の発達段階では、してはいけないとわかっているにもかかわらず、その時々周りの状況や気持ちに流されてしまうことがある。従って、自身の行動を振り返り、してよいことかどうかわ自分で考え判断し、よいと思うことを進んで行おうとする姿勢が大切である。また、その時に注意してくれる周りの声を素直に聞いて考えようとしてほしいと考え、この主題を設定した。

### (2) 児童の実態

本学級の児童は、素直で穏やかな児童が多く、学校や家で決められた約束やきまり、注意されたことなどは守ろうとすることができる。友達との仲もよく、休み時間には外でいっしょに遊んだり、けんかをしても相手の話を聞いてお互い謝って仲直りしたりすることができる。しかし、周りに流されて約束やきまりを破ってしまったり、友達の注意を素直に聞けなかったりすることが少なからず見られる。

2 学期初めの道徳の授業では、「よりみち」の学習をした。友達に誘われて最初は寄り道をしてしまった女の子が、次に誘われた時に「よりみちはいけないよ。」と断った話である。その時は、自分で考えて寄り道をしないと決めたよさについて考えた。

本教材では、「よりみち」と逆の立場の注意された側の主人公の気持ちについて考えさせたい。してはいけないとわかっているにもかかわらず悪いことをしてしまったり、友達の注意を無視してしまったりすることもある。だが、その時に本当にしていいことなのかどうか、自分で考えて判断できるようにし、よいと思うことは進んで行うことの大切さに気付かせたい。

### **(3) 教材について**

本教材は、入ってはいけない裏山に行こうとかんたがぼんたを誘ったが、ぼんたに「ぼくは行かないよ。」と断られ、その後、自分で考えてかんたも「ぼくも行かない。」と決めた話である。

入ってはいけないとわかっているにもかかわらず、裏山に入ってしまったかんたの気持ちに寄り添いながら、ぼんたの言葉をきっかけに、心の中で葛藤し、最後は自分で行かないと決めた心情を考えさせたい。そして、よいと思うことを進んで行うとすがすがしい気持ちになれることに気付かせたい。

## **7 考えを深め合う授業の工夫**

- ・紙芝居を効果的に使うことで、主人公の気持ちに寄り添いやすくする。
- ・役割演技をすることで、児童が主人公の気持ちを考えて活動できる場を作る。
- ・道徳ノートを活用し、一人一人が自分の考えを持てるようにする。

## 8 本時の展開

過程	学習活動	学習形態	主な発問と予想される児童の反応	教師の働きかけ	準備物・評価
導入	・写真を見る。	一斉	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     秘密基地を知っていますか。聞いてどう思いますか。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しそう。</li> <li>・作ってみたい。</li> <li>・気になる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秘密基地が楽しそうなものだという気持ちを持たせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真</li> </ul>
展開	・教材を読む。	一斉		<ul style="list-style-type: none"> <li>・かんたの気持ちを考えながら聞くよう声をかける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙芝居</li> <li>・挿絵等</li> </ul>
	・裏山に行こうとする時のかんたの気持ちを考える。	一斉	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     「へいき、へいき。」と言っているとき、かんたはどんな気持ちだったでしょう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰も見てないしいだろう。</li> <li>・ちょっとぐらいなら、ばれないよ。</li> <li>・ぼんたは、こわがりだな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悪いことだとわかっているけど、「平気だ」と言うかんたの気持ちを考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ぼんたの言葉をきっかけに、自分で行かないと決めたかんたの気持ちに気付くことができたか。</li> <li>&lt;発言・観察&gt;</li> </ul>
	・行かないと決めた時のかんたの気持ちを考える。	ペア 一斉	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     自分で行かないと決めたとき、かんたはどんなことを考えていたでしょう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼんたが行かないからぼくも行かない。</li> <li>・悪いことだから行かない。</li> <li>・けがすると危ないからやめよう。</li> <li>・お家の人心配するからやめよう。</li> <li>・やっぱり、行ってはいけない場所だからやめよう。</li> </ul>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                     ④最初行こうとしたのに、どうしてやめたのでしょうか。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かんたが心の中で葛藤していたことに気付かせる。</li> </ul>	
・なかよくぶらんこにゆられているかんたの気持ちを考える。	一斉	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     なかよくぶらんこにゆられている時、どんなことを考えていたでしょう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しい。</li> <li>・風が気持ちいいな。</li> <li>・やっぱり、裏山に行かなくてよかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役割演技を通じて、自分で善悪を区別し、よいと思うことを選んで行動できたからすがすがしい気持ちになれたことに気付かせる。</li> </ul>		
終末	・学習の振り返りを書く。	個別 一斉	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     学習して思ったこと、考えたことを書きましょう。                 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書くのが苦手な児童には、かんたの行動に対してどう思ったのか聞き、児童の思いや考えを引き出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを行おうとする気持ちを持つことができたか。</li> <li>&lt;道徳ノート&gt;</li> </ul>

9 板書計画

だい〇かい どうとく

ひみつきち

ぼんたとかんた

いかないよ

じっと考えているかんたの絵

10 道徳ノート

No.24

どうとく

『ぼんたとかんた』 月 日

なまえ ( )

ふりかえり

◎しっかりとかんがえることができた。

◎ともだちのかんがえをきくことができた。

◎じぶんのかんがえをいうことができた。